



◆ アレルギー支援ネットワーク 通 信 ◆



NO. 92 2014. 8. 1

※等幅フォントでご覧いただくと最適に表示されます。

「暑くて、体から涙がたくさんでちゃう…」？！

おやおや何のことかと思ったら、汗が出てきたんですね。子どもたちが言うとおりに、汗は体の涙かもしれませぬ。

暑さに負けずに元気にこの夏を乗り切りついでいきましょう！

===== も く じ =====

- 1、アレルギー科医師「リレートーク」 第7回
- 2、アレルギー大学・千葉 ベーシックプログラム開講のご案内
- 3、「アナフィラキシー対応とアドレナリン自己注射器」講習会
- 4、アレルギーっ子のおいしいレシピ 『乾物三兄弟の五目いなり』 近藤由美
- 5、千葉アレネット情報 第4回
- 6、アレルギーっ子の防災
 - ★第10回 防災のはなし 防災士 中根輝彦
 - ★★東海アレルギー連絡会 総会のご報告
 - ★★★「アレルギーっ子の防災セット」登録についてお知らせ
- 7、賛助会員からのメッセージ すくわくハウス
- 8、アレルギーが心配な保護者の方へ
 - ★アレルギーの子を持つ親の会からのメッセージ 第10回 南部アレルギーの会
 - ★★8月「アレルギー児の親の交流会」開催のお知らせ
 - ★★★ぜひご参加を！主催：津島保健所『漢人直之先生の講演会』
 - ★★★★勉強会・イベント開催のお知らせ
- 9、「食品表示法」を創設するにあたり、パブリックコメント（意見や改善案）を募集中
- 10、Gooddo（グッドゥ）についてご案内
- 11、アレルギー教本「食物アレルギーの基礎と対応」のご案内
- 12、募金にご協力ください

=====

1、アレルギー科医師「リレートーク」 第7回

皆様、はじめまして。今年度よりあいち小児保健医療総合センター・アレルギー科でお世話になっています、酒井一徳と申します。

アレルギーの患児が増えつつある昨今、昨年まで11年間過ごしてきた沖縄県でも食物アレルギーのお子さんが多く、外来で負荷試験を行っていました。もちろん当院のようなリスクの高いお子さんを対

象にするには人手が足りず、どちらかという抗体価が少し上昇しているだけで、食物の除去の指導を行われていたお子さんに対して、診断を目的として負荷試験を行っていました。このように条件を絞っていても、アレルギー児に対する対応としては十分ではなく、更なる負荷試験の必要性や、そして食物指導に関してより正確な評価や食事の指導法が必要であると感じ、現在伊藤先生の下でアレルギーの研究を積んでおります。愛知県と違ってアレルギー専門医がまだまだ足りず十分な対応が沖縄県では行う事が出来ていません。

また、過去主流であったアレルギー食品に対する除去という方針から、現在の食べられる食品は食べつつ、更に免疫療法という新たな治療が行われる等、アレルギーにおける進歩はとても目覚ましいものがあります。かつ新たな知識というものは当院のような専門分野で最先端の治療を行っている施設でなければ学ぶ事が難しい事もあり、これからアレルギーを通してみなさまのお役にたてていけたらなと考えています。

アレルギーに関して地方における問題を通して、自分の経緯を混ぜて簡単ではありますがお伝えさせて頂きました。最後までおつきあい頂きありがとうございます。

今後入院・外来にてお会いする日もあるかと思いますが今後ともよろしくお願い申し上げます。

あいち小児保健医療総合センター

アレルギー科

酒井 一徳

2、アレルギー大学・千葉 ベーシックプログラム開講のご案内

8月31日(日)に、千葉でも、アレルギー大学・1日集中講座 「ベーシックプログラム」がNPO法人千葉アレルギーネットワークの主催で開講されます。

昨年、愛知県で、500人以上のお申し込みが集中した大人気の講座の千葉版です。

通常のアレルギー大学の基礎・初級の内容を中心とした内容で、アレルギーの正しい知識と基本的な対応を1日の集中講座で習得でき修了認定証も取得できます。

栄養士、管理栄養士、保育士、教員を目指す学生さんと、アレルギー大学の日程が多くなかなか参加しづらいという専門職の方には特におすすめです。

会場は、千葉大学医学部第一講義室で、定員は100名ですので、お早めにお申し込みください。

皆様のお申し込みをお待ちしております。

3、「アナフィラキシー対応とアドレナリン自己注射器」講習会

認定 NPO 法人アレルギー支援ネットワークでは、教育・保育関係の先生および保護者を対象として、エピペンの使用を含むアナフィラキシー対応に関する講習会を企画しています。

昨年度は、園や学校の先生をはじめ、保護者・救急救命士の方など多くの方にご受講いただいた講習会です。

ご好評により、10/21(火)・2015年1/29(木)の追加開催が決定しました。

エピペンを打つタイミングなどの重要なポイントを、詳しく学んでいただくことができる内容となっています。迅速に対応していただけるようになるために、講習会へのお申込みをお待ちしております。

4、アレルギーっ子のおいしいレシピ 『乾物三兄弟の五目いなり』 近藤由美

8月は、家族で実家に帰ったり、夏祭りや花火大会など楽しみがいっぱいだと思います。

食物アレルギーがあっても親戚の皆と同じ物を食べて、普段不足しがちな鉄分、カルシウムを補いましょう☆皆で協力して作れば美味しい思い出も増えますよ♪

5、千葉アレネット情報 第4回

こんにちは。NPO 法人千葉アレルギーネットワークの桐谷です。

4月にお知らせした「ノンアレカフェ」は6/26、7/11と開催いたしました。

初回はNHKも取材に入り、その様子は期間限定ですがHPでも見る事が出来ます。

<http://www.nhk.or.jp/shutoken/net/report/20140627.html>



7月は台風が上手く通り過ぎたのでご予約いただいた方には全員いらしていただきました。
小学校の登校時間が台風の影響で11時になったそうで、お客様は外出しにくかったようです。お客様が少なかったのですがその代り相談をゆっくり伺うことが出来たり、シェフにレシピを聞いたりとゆったりとしたお時間を過ごしていただきました。次回以降は8/4、9/26、10/27となっております。

8月31日(日)千葉でもベーシックプログラムを行います。
HPで申し込みも受け付けておりますのでよろしくお願いいたします。

https://docs.google.com/forms/d/1JivZ2-uyq44aqG2OtCMFQG1cO6k_dOb50nRvPn-aInM/viewform

NPO 法人千葉アレルギーネットワーク
副理事長 桐谷 利恵

6、アレルギーっ子の防災

★第10回 2014.7.18「行政の災害用備蓄食 一対策依頼」 防災士 中根輝彦

メルマガをお読みの皆さん、こんにちは。防災士の中根輝彦です。
災害復旧支援・防災におけるアレルギー支援の取り組み事例について、一つ一つ紹介するシリーズ、第6回目です。

前は「行政の災害用備蓄食—情報共有」について紹介しました。各地の自治体の対応状況について情報を共有し、全国的な雰囲気作りをしようというお話でした。

今回は、「行政の災害用備蓄食—対策依頼」についてのお話です。行政に対策依頼をする方法について考えてみたいと思います。

前回のメルマガで、アレルギー支援ネットワークさんが岡崎市へ対策依頼をしたときの申し入れ文書をネットワーク会議で紹介して下さったことを紹介しました。些細なことでもノウハウを共有できるのは大変心強いです。いろいろなアイデアがあると思いますが、自分なりに考えた方法を紹介します。「私はこれで成功した」と胸を張って言えるとよいのですが、今回はアイデアのみです。どなたかチャレンジしてみて結果を教えていただけるとうれしいですね。事例が増えます。

アレルギー支援について、自治体の防災担当部署へ直接陳情する「直球ど真ん中」な方法以外に、「あわせワザで1本」な方法を考えてみたいと思います。災害時要援護者支援策の一つとして「食事支援」を、食物アレルギーだけでなく、他の摂食ハンディを持つ方と一緒に盛り上げたらどうかという提案です。メルマガのタイトルは「災害用備蓄食」になっていますが、内容は「食事支援」まで広げて考えたほうがよい内容です。

第2回のメルマガ「共助」のお話の中で、支援して欲しいと考えているのはアレっ子だけではないこと、災害時要援護者といわれるいろいろな方がいろいろな支援を欲していることを紹介しました。災害時要援護者の支援が提言されていますが、食物アレルギーは災害時要援護者という認識はほとんどありません。一般的には「単独での避難行動が困難」「避難所生活が困難」なため支援が必要な方という漠然とした定義で、自治体により対象者や支援策も異なっています。

最近では福祉避難所の運営も提言されるようになってきました。社会福祉（高齢者福祉、障害者福祉）の立場から、一般の方とは分離した避難所として、それぞれのニーズにあったサービスを提供できる避難所を運営しようという呼びかけです。平常時でもいろいろな支援がされている福祉の分野なので、被災時でも福祉視点でのサービスが必要という考え方です。

災害時要援護者支援策の具体的な項目として「災害時の食事」についての支援などと一歩踏み込んだ施策を掲げている例はほとんど聞いたことがありません。備蓄食という視点で考えると、それぞれが自助として備えればよいとなってしまう、なかなか支援に結びつきません。

福祉分野では、食事の介助など「食べる」ことのお手伝いもあります。箸、スプーン、食器などをうまく扱えない。配膳や片付けができない。嚥下障害がある。など、いろいろな状況でヘルパーさんが介助していますよね。おそらく、避難所生活でもこういった支援が必要になるから、福祉避難所が必要という考えに発展しているのでしょうか。

食物アレルギーのみなさんが避難所生活をするときに、このような介助作業的支援が必要になるならば、福祉避難所のサービスのひとつに取り込んでもらえるよう働きかけるのもよいのではないのでしょうか。防災担当部署へ申し入れるのではなく、福祉関連や子ども関連の部署へ申し入れることとなります。

備蓄食の蓄えを考えると、アレルギー対応食品は価格が割高だったり、種類が少なかったり、入手が困難だったり、一般の方の備蓄に比べて苦勞が多いように思います。こういった状況は、アレルギー対応だけでなく、病気治療のための食事制限がある方も同様ではないでしょうか？肝臓病、腎臓病、高血圧…。いろいろ考えられますが、食事療法などで、医師から厳しく指導されている方は、避難所で炊き出しを提供されていても食べることができないのではないのでしょうか。

このように考えると、医療分野の視点で災害対応を考える必要があり、福祉視点とも違ったアプローチができるのではないのでしょうか。自治体の防災担当部署へ申し入れるのではなく、医療機関に災害対応を考えてもらうこととなります。

さらに、赤ちゃんのミルクや離乳食なども、避難所の炊き出しや配給される救援物資でも十分とは言えないかもしれません。こちらは、子育て支援関連の部署を巻き込むことができそうです。

今回は、「行政の災害用備蓄食一対策依頼」から視点を広げて、福祉・医療・子育ての視点で食事支

援全般に関して、関係機関を巻き込んで支援依頼をしていく事例を紹介しました。

今回は、「防災啓発ツールへの反映」について紹介します。

防災士 中根輝彦

日々つぶやいています。

@TeruhikoNakane

内容は筆者個人の考え方に基づくものです。アレルギー支援ネットワークを代表するもの、方針を反映したものではありません。

ご意見ご感想をいただけると嬉しいです。次の原稿を書く励みになります。

アレルギー支援ネットワークの事務局まで、お寄せ下さい。

宛先：info@alle-net.com

6、アレルギーっ子の防災 ★★東海アレルギー連絡会 総会のご報告

7月5日(土)13:30-16:30 中村生涯学習センター 第2集会室にて開催され、

- 内容は、
1. 2014年度総会
 2. 安否確認訓練の報告と検討
 3. 各地の防災対策 報告と情報交換

でした。

総会では、2013年度の活動報告・決算報告および、2014年度の事業計画・予算案が承認されました。

また、去る6月10日に、各会の防災担当者に対して行った「安否確認訓練メール」について、それぞれの会からの報告と検討をいたしました。

この訓練は、大規模災害を想定して「安否確認メール」を事務局から一斉配信し、各会は会員さんに対して安否確認をする、という内容でしたが、当日中に全会員さんの安否確認ができた会、三日かかったという会、メールアドレスを変更していたり、迷惑メール対策がしてあったりしてメールが届かない会、未だ会員間の連絡体制を決めていない会など様々な状況で、それぞれの会が災害時の連絡方法について考え直すきっかけとなったようです。

東日本大震災におけるアレルギー患者さんへの支援活動の経験から、大規模災害時は通信網が遮断されるため、安否確認メールは数日後にしかできないことが予想されます。南海トラフ大地震が起きれば、アレルギー支援ネットワークの事務局も被災をしますので、生き残った者たちで助け合うこととなります。患者家族の皆

さんが、今、大規模災害が起きたら、食料や水、薬は十分あるのか、家族との連絡方法をどのようにするのかを常に考え、日頃の備えを十分にさせていただきたいと願っています。

また、今回の交流会には、コメンテーターとして、K市 K小児科・K先生(日本アレルギー学会登録専門医)が参加をしてくださいました。医療機関として、災害時に地域の患者さんを支えるにはどうしたらいいか考えるために参加をしたとおっしゃってくださいました。各地域の患者会も、会員同士の助けあいはもちろんのこと、医療機関や保健所、防災課や災害ボランティア団体と日頃からのコミュニケーションを心がけておくことが、災害時のこどもの命を守ることにつながる、と考え行動をしましょう、と確認をし合った交流会になりました。

次回の交流会は、11月29日(土) 13:30- の予定です。

東海アレルギー連絡会 事務局 中西里映子

6、アレルギーっ子の防災 ★★★「アレルギーっ子の防災セット」登録についてお知らせ

【防災セットとは】

アレルギー支援ネットワークの、防災救援システムの一つです。

緊急時安否確認システム登録・データ登録シリコンバンドにより、アレルギー疾患を持つ患者家族の皆様が、アレルギー支援ネットワークと連絡を取り合える事を目的とし、

災害時・緊急時に患者の情報をスムーズに伝えるために役立つ緊急時（災害時）おねがいカードをセットにしました。

【セット内容について】

防災セットは、緊急時安否確認システム登録・データ登録シリコンバンド1本・緊急時（災害時）おねがいカード3枚がセットになります。

【緊急時安否確認システム】

地震など大きな災害が発生した場合は、被災地域の登録者に対してアレルギー支援ネットワークより安否確認メールを送信します。

メールに返信していただくことで安否の確認をいたします。その際必要な情報がある場合希望内容をご連絡ください。

被災した現地の支援情報等得ることができている範囲での最新情報をお伝えいたします。

【データ登録シリコンバンド】

シリコンバンドには安否確認システムにリンクする登録番号が印字されており、バンドを身につけることで、緊急事態でも事前に登録された患者情報から迅速に救援の手配をすることができます。

【緊急時（災害時）おねがいカード】

災害時に保護者と離れ離れになっても、周囲の人にアレルギー症状や除去食品、連絡先や主治医等の情報を正確に知らせるための携帯用カードです。

非常時にはもちろんのこと、平常時にも周囲に正確な情報を提供するために役立ちます。

【防災セットお申し込みについて】

対象者：食物アレルギー、ぜん息、アトピー性皮膚炎などの患者本人または保護者の方

料金：アレルギー患者1人につき1セット無料（登録料・管理サービス料・送料などすべて不要です。）

注意・・・公益事業として助成金で作成費などを補っているため、無償サービスは先着1万名様となります。有償になる場合は事前にHPでご案内いたします。

予備・追加について：予備の購入、紛失等による追加は、シリコンバンド1個 250円、緊急時おねがいカードは1枚 25円となります。

（送料・振込手数料は自己負担となります）

【申し込みの流れ】

- ① 安否確認システムへの登録（アドレス表示）から登録してください。

登録方法をご覧ください、<http://alle-res.com/Contents/Menu.php> よりご登録下さい。

（既にシリコンバンドをお持ちの方もまずは安否確認システムへご登録ください）

登録に使用するメールアドレスは、「@」より前に「.」の使われているものはご利用

になれません。登録メールアドレスを設定する際に、メールフィルターをご使用の場合には、メールフィルターの設定を解除してください。

↓

- ②アレルギー支援ネットワークに登録情報が届く。

↓

- ③登録番号の決定（番号の指定はできませんので予めご了承ください）

↓

- ④登録番号の入ったシリコンバンド（1本）と緊急時おねがいカード（3枚）が届く。

（登録から発送まで、1～2週間ほどかかります。）

【登録後】

災害時・緊急時にこのシステムを少しでもスムーズにご利用頂けるよう、日頃から3～4ヶ月に1度程度メール配信をいたします。

メールアドレス変更・登録内容の変更等は、防災ネットワーク・お問合せフォームよりご連絡ください。

現在、様々な状況に応じできる限りの情報提供ができるよう平時より体制を整える準備を進めています。

7、賛助会員からのメッセージ すくわくハウス

はじめまして。このたび賛助会員に加わせて頂いた、「すくわくハウス」です。

私たちは、建築士と工務店、そして整理収納アドバイザーの3人の専門家が力を合わせて、アレルギーを持つご家族に最適な「住まい」を提供しています。

ただ、私たちは、アレルギーの専門家ではありません。

これまで、いろいろなご縁からアレルギーをお持ちの方とお会いする中で、以下のことに気づかせていただきました。

- ・アレルギーをお持ちの方が家を創ろうとする際、選択肢が少なく、とてもご苦労されているということ
- ・アレルギーの原因となるものは、その方により千差万別で、すべてのアレルギーに対して絶対に安心というものはないということ
- ・アレルギーをお持ちの方は、とても一生懸命にお掃除をされていて、負担を少しでも減らすためにはお掃除をしやすい環境を作っておくことがとても大切なこと

「天然素材を使った家」であれば大丈夫という大雑把な考え方では、住まう人に最適な、納得のいく、安心できる家を手に入れることができないと考えています。

そこで、私たちは、お悩みをお持ちのご家族が、安心して暮らせる家を、入念な対話を通して、「一緒に」創り上げていきたいと考えています。

そして、家を創りあげるプロセスだけでなく、その後の暮らし方までを含めて、3人のプロが力を合わせてサポートさせていただきます。

すべてのご家族がワクワクしながら家づくりをし、家族みながスクスクと育っていける、たった一つの住まいづくりを目指しています。

私たちの詳しいことについては、すくわくハウスのホームページをご覧くださいませ幸いです。

<http://www.sukuwaku.com>

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

8、アレルギーが心配な保護者の方へ

★アレルギーの子を持つ親の会からのメッセージ 第10回 南部アレルギーの会

私たち南部アレルギーの会は、主に南区・港区などの名古屋市南部にお住まいのアレルギーの子を持つ親の交流の場として交流活動しています。

現在は、1~2ヶ月に1度、親の皆様と情報交換や相談などの座談会をしています。

前は6/24(火) 南区社協センターの調理室にて、座談会をしました。

スキンケアの仕方、地域の病院・保育園入園に関して、アレルギー除去食品の取扱いのあるお店など、その地域ならではの情報交換も幾つかありました。

初めての方、他の地区の方なども合わせ7組ほど参加してくださいました。

私が南部アレルギーの会に参加することになったきっかけは、わが子が食物アレルギーで、アナフィラキシー症状が出たことでした。

初めての経験で、どうすればいいのかわからず、誰に相談したらいいのか、どうしていけばいいのか…不安や焦りでいっぱいでした。

そんな時に、知人に南部アレルギーの会を教えてくださいました。

会には、アレルギーのお子さんを持つ先輩方がいて、色々な経験談や情報を教えてくださいました。こんな事があるんだ!!と気付く事がたくさんありました。

現在も、子供はアトピー性皮膚炎、喘息に加え、食物アレルギーがあります。

まだまだ、初めてでわからない事がたくさんあります。

でも、今は、悩んだり、困ったりした時は相談する事ができるし、情報や知識も増えて少しずつですが、前向きに進む事ができています。

私自身、今期は「アレルギー大学」を受講しています!!

専門的な内容なので、難しそうだし、素人の私が大丈夫かな?!(- -;)と不安でした…が、

それ以上に、子供のアレルギー症状(アナフィラキシー、エピペン対応、アレルギーって何?)に対する不安が大きかったので、受講を決めました。

医学、栄養学、食育など色んな面白い話が聞けます!!難しいのもありますけどねー

病院で話はできるけど…先生に質問するのもなかなか難しいですね。

保育園や学校にも、どう伝えればいいのかもわからないなど。

自分自身、少しずつでも知識が増えると助かるし、同じ様に不安や悩みを持っている皆さんに交流会などで提供できればと思っています。南部アレルギーの会が、皆様にとっても良き交流の場になればと思いい活動しています。

みんなでやってみたい事、話し合いたい事など、会のみなさんからの要望を活動内容に反映していけたらと思っています。

主な地域は南区、港区ではありますが、患者会のない地区の方、他の会の方、初めての方など色々な方と情報交換・交流できる場、悩みを共に話し合える場になればと思っています。

次回は、9月に交流会を予定しております。日にちは9月30日（火）です。
機会があればぜひ、ご参加ください♪お待ちしております♪

南部アレルギーの会
吉川 寛子

8、アレルギーが心配な保護者の方へ
★★8月「アレルギー児の親の交流会」開催のお知らせ

食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、ぜん息など、アレルギーのお子さんの事、アレルギーかな？と、お悩みのある方、スキンケアや食事の事、園や学校についてなど、私たちと一緒にお話をしませんか？
どこの交流会へも参加可能です。

交流会を実施している区外、或いは近郊の市町にお住まいの方の参加やお問合わせも多く、ご要望の多いところから順に交流会の開催準備をすすめています。

参加希望の方はご連絡を下さい。お待ちしております。

【8月の日程】

7日（木）	守山アレルギーの会	10時～予定	会場は未定
7日（木）	あま市アレルギーの会	10時～	美和公民館 和室1
8日（金）	アレルギー支援ネットワーク	10時～	アレルギー支援ネットワーク 事務所
21日（木）	RIN RIN♪豊橋アレルギーっ子の会	10時～	豊橋会館「さくらピア」児童保育室
22日（金）	名東アレルギーの会	10時～	ウィズ豊川
23日（土）	アレルギーっ子あつまあれ会	10時～	津島市中央児童館
24日（日）	西尾アレルギーの会・アレっ子元気	10時～	総合福祉センター4階
27日（水）	ぷちヴェール(日進アレルギーの会)	10時30分～	北部福祉会館
28日（木）	蒲郡アレルギーっ子の会	10時～	蒲郡勤労福祉会館・和室

【対象】 0歳～中学生位までのアレルギー児の保護者

【参加費用】 各交流会に確認して下さい。

お申込は

電話：052-485-5208

URL：<http://www.alle-net.com/>

皆さまのご参加をお待ちしております。

8、アレルギーが心配な保護者の方へ

★★★ぜひご参加を！主催：津島保健所『漢人直之先生の講演会』

アレルギー疾患を持つお子さんの日頃の生活で不安に思うことはありませんか。

アレルギー症状は「大丈夫」と思ってもすぐ対応が必要な場合もあります。

そこで今年も津島保健所ではエピペンの使い方も含めてアレルギー症状時の対応についての講演会を開催します。また、アレルギーを持つお子さんの保護者の交流会も行います。

8、アレルギーが心配な保護者の方へ

★★★★勉強会・イベント開催のお知らせ

アレルギーに関する勉強会や、イベント・情報などをホームページにて掲載しております。

みなさまの、情報交換の場として、是非ご活用ください。

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.alle-net.com/info/info07/info07-08/>

9、「食品表示法」を創設するにあたり、パブリックコメント（意見や改善案）を募集中

食物アレルギー患者の増加に伴い、平成 14 年より食品衛生法に基づき、容器包装された加工食品における「アレルギー表示」が義務化されました。現在では、表示義務として 7 品目（卵・乳・小麦・そば・ピーナッツ・エビ・カニ）、表示推奨として、20 品目（いくら、キウイフルーツ、くるみ、大豆、バナナ、やまいも、カシューナッツ、もも、ごま、さば、さけ、いか、鶏肉、りんご、まつたけ、あわび、オレンジ、牛肉、ゼラチン、豚肉）があります。

食物アレルギーをもつ患者家族にとって、この表示制度が、わかりづらかったり、不十分な点はありませんか？

消費者庁では、食品衛生法、JAS 法、健康増進法の食品の表示に関する規定を統合し、

「食品表示法」を創設する準備をしており、広くパブリックコメント（意見や改善案）を募集しています。

現行制度を下記にまとめましたので、もっとこうしてほしい、という具体的な意見を是非あげましょう。

表示の約束事として現行制度は・・・

1. 表示されるのは特定原材料 7 品目と特定原材料に準ずるもの 20 品目の 27 品目にかざられます。従って、特定原材料に準ずる 20 品目は表示されないこともあります。
2. 表示の対象は、あらかじめ容器包装されているもの、缶やビンに詰められた加工食品です。飲食店（レストラン、ファーストフード店など）、量り売りのお惣菜、店内で調理する（加熱も含む）お弁当やパンなどは、アレルギー物質の表示対象外です。容器包装の表面積が 30 cm²以下の小さなものには表示義務がありません。
3. 表示義務があるのは、加工食品中のアレルギー物質のたんぱく質濃度が、数 μ g/g 以上のものです。従って、表示義務濃度以下であっても、たくさん摂取すれば症状が誘発される場合があります。
4. 代替表記といって、「卵」⇒「たまご」のように異なった表記でも同一であることが理解できる場合や、特定加工食品の表記といって、「卵」⇒「マヨネーズ」のように、一般的に原材料として使われていることが明らかな場合は、加工食品そのものの名前で表記してもよいことになっています。
5. アレルギー物質が一括表示（原材料の一番最後にまとめて表示）されていたり、省略（一度記載されたアレルギー物質がほかの原材料に含まれていても記載を省略できる）されていることがあります。例えば、醤油に含まれている小麦を一度掲載することで、小麦粉そのものを使用しても掲載を省略することができるため、症状が誘発された事例がありました。

消費者庁、下記アドレスに接続して、8/10(日) までに意見を提出しましょう。

<http://www.caa.go.jp/foods/index18.html>

又は、e-gov、食品表示基準で検索し、意見を提出することができます。

<http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=235080024&Mode=0>

10、Gooddo（グッドウ）についてご案内

アレルギー支援ネットワークは、ソーシャルグッドプラットフォーム gooddo（グッドウ）に参加いたしました。

<http://gooddo.jp/gd/group/alliesien/?md=fb>

上記のリンクから gooddo のアレルギー支援ネットワークのページに行き、毎日ぜひクリックして下さい。

（クリックにお金はかかりません）

クリック数に応じて応援企業から支援金が「アレルギー支援ネットワーク」に届けられます。

▼gooddo（グッドウ）とは？

自分の応援したい社会貢献団体を、誰でも、今すぐ、簡単に応援することができるソーシャルグッドプラットフォームです。

ぜひ「クリック」「いいね！」でご協力をお願いいたします！

<http://gooddo.jp/gd/group/allesien/?md=fb>

ご不明な点がございましたら、お問い合わせください。

お問い合わせ：info@alle-net.com

11、アレルギー教本「食物アレルギーの基礎と対応」のご案内

皆さまは、既にお持ちですか。

アレルギーに関わる皆様のバイブルとなる「食物アレルギーの基礎と対応」。

本書は、宇理須先生監修の下、アレルギー専門の医師やアレルギー対応給食の現場で活躍されていた先生等専門の方々に執筆・編集協力をしていただいております。充実した内容になっています。

アレルギーに携わる仕事をされている方、アレルギーのご家族がいらっしゃる方、アレルギーに関わる皆様はもちろん、アレルギーについて勉強がしたい、興味があると言う皆様にもぜひ、お手元へ置いていただきたい一冊です。

12、募金にご協力ください

※認定 NPO 法人アレルギー支援ネットワークは寄付金控除対象団体です※

「GiveOne 寄付サイト」<http://www.giveone.net/cp/PG/CtrlPage.aspx?ctr=pm&pmk=10108>

『東海地域にアレルギーを持つ親子を地域で支えるサロンを』プロジェクト
～アレルギーを持つ親の不安な気持ちを支え、子供たちの笑顔を守ろう！！～
(※GiveOne の寄付サイトでは引き続き掲載をさせていただきます。)

<http://www.giveone.net/cp/PG/CtrlPage.aspx?ctr=pm&pmk=10290>

「東海ろうきん NPO 寄付システム」(<http://tokai.rokin.or.jp/npo/index.html>)を通じて寄付をお願いしております。寄付の方法や支援していただく事業などは、各リンク先をご確認ください。また直接の寄付および領収書発行等につきましては、下記事務所までお問い合わせください。

=====

★メールアドレスの変更や、このメールマガジンに関するお問合せは
asn-mailmagazine@alle-net.com (メルマガ編集部) までお願いします。

また、今後、アレルギー支援ネットワークのメールマガジンを希望されない方は、お手数ですが、件名に「配信停止希望」と書いてメールをお送りください。(メールマガジン配信準備の都合上、配信停止手続きと行き違いでお届けする場合がございますが、ご了承ください。)

★メルマガの転載について

無断転載・転送を禁じます。アレルギーの会などが活動で使用する場合は、メルマガ編集部 asn-mailmagazine@alle-net.com までお尋ねください。

なおメールマガジンのメールアドレスには、返信はできません。ご注意ください。

☆☆☆みなさまからのご質問を募集中！アレルギーや支援ネットワークに関することなんでもOKです。ぜひお気軽にどうぞ☆☆☆

★みなさまからのご要望、お便り、アレルギーについての疑問などお寄せください。

発行/編集 認定 NPO 法人アレルギー支援ネットワーク

◇事務局◇

453-0042 名古屋市中村区大秋町 2-45-6

▽TEL : 052-485-5208

▽E-mail : info@alle-net.com

☆◆-----